

第13回アジア・オセアニアGEOシンポジウム 開催結果



2021年6月10日

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

- (1) 期 間： 2020年3月3日(水)～5日(金)
- (2) 場 所： オンライン開催
- (3) 主 催： GEO事務局、文部科学省
- (4) テー マ： “Enhancing the well-being of people in the Asia-Oceania region through Earth observations in the face of COVID-19 impacts — design and implement future steps for Earth observations to realize global agendas, i.e. international policy linked to the GEO engagement priorities”.
- (5) 出席者： 20か国、約200名
(日本、豪州、カンボジア、中国、インドネシア、韓国、ネパール、ニュージーランド、ミャンマー等)



1. カントリーレポート

- 11か国よりカントリーレポートの発表が行われた。COVID-19影響下における各国の地球観測に関する取組が紹介され、対面での会合が制限される中での重要な情報共有の場となった。

(日本、豪州、バングラディシュ、中国、インド、韓国、モンゴル、タイ、ベトナム、カンボジア、インドネシア)



2. 特別セッション 1 : SDGsのための地球観測と統計コミュニティの連携

- UNESCAPの統計部長 (Gemma Van Halderen) を共同議長として招き、統計コミュニティとの連携でSDGs指標に地球観測データを用いることの有用性について議論された。



◇ シンポジウム後、Gemma統計部長によって執筆された特別セッション 1 についての記事が UNESCAPのブログとThe Financial Express (インドの現地新聞) に掲載された。

- UNESCAP Blog : <https://www.unescap.org/blog/partnership-goals-earth-observation-and-statistical-communities-unite-sdgs>
- The Financial Express : <https://thefinancialexpress.com.bd/views/opinions/earth-observation-and-statistics-for-the-sdgs-1618245035>



3. 特別セッション 2 : COVID-19時代以降のAO地域における能力開発、データおよび知識の共有

- COVID-19をきっかけとした新しい形の能力開発プログラムの好事例が紹介され、その教訓と課題に基づき、今後の能力開発、データおよび知識の共有について議論された。

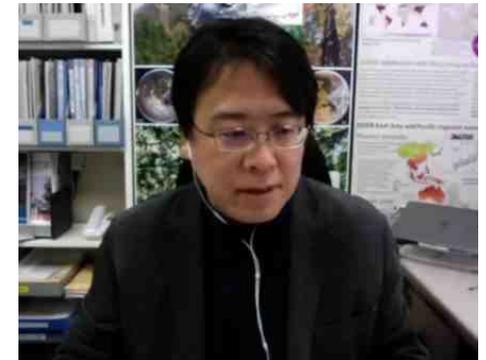
4. 特別セッション 3 : 太平洋島嶼国

- GEOの優先連携 3 分野 (パリ協定・SDGs・仙台防災枠組) に焦点を当て、太平洋島嶼国のニーズや能力開発、地球観測技術、政策動向等について事例が紹介された。

5. AOGEO活動の現状報告

○ 事前に行われた各タスクグループ（TG）の分科会の結果を基に、それぞれの活動が紹介された。また、AOGEOの分野横断的に取り組むケーススタディであるIntegrated Priority Studies（IPS）活動についても現状の報告が行われた。

- | | |
|---|--------------------|
| ◇ TG1：GEOSSアジア水循環イニシアティブ（AWCI） | ◇ TG6：干ばつモニタリングと評価 |
| ◇ TG2：生物多様性観測網ネットワーク（AP-BON） | ◇ TG7：環境モニタリングと保護 |
| ◇ TG3：GEO炭素・GHGイニシアティブ | ◇ TG8：災害強靱性 |
| ◇ TG4：海洋・沿岸・島嶼（OCI） | ◇ TG9：ヒマラヤGEOSS |
| ◇ TG5：農業と食料安全保障（Asia-RiCE） | ※ TG6は報告なし |
| ◇ IPS：メコン川流域、小島嶼国、ヒマラヤ山脈における分野横断的なケーススタディ | |



6. 「AOGEO宣言2020」の採択

○ AOGEO全体として、この1年の成果を総括し、今後取るべき活動等を示した「AOGEO宣言2020」が採択された。

- ◇ 持続可能な開発（SDGs）への貢献
- ◇ 気候変動（国連気候変動枠組条約）への貢献
- ◇ 防災（仙台防災枠組）への貢献
- ◇ Integrated Priority Studies (IPS)を通じた活動拡大
- ◇ 太平洋島嶼国
- ◇ データ共有とプラットフォーム
- ◇ ユーザー連携と能力開発



7. 次回シンポジウム

第14回AOGEOシンポジウムは、2021年度中に日本主催で開催予定。